

飛び地型自治体連携
ヘルスケア
プロジェクト

湯梨浜町健康推進課



経緯

- ▶ 2018（平成30）年10月12日、県・町・タニタヘルスリンク（以下「THL」）が「ゆりはま食と健康のまちづくり事業に関する協定」を締結
- ▶ 2018（平成30）年11月12日、Smart Wellness City首長研究会に加盟100自治体目として加盟
- ▶ 2018（平成30）年11月10日、健康プログラム「ゆりはまヘルシーくらぶ」の募集を開始。2019（平成31）年1月1日より事業をスタート
- ▶ 2019（令和元）年10月31日、次年度より「SIBを活用した飛び地型自治体連携事業」の第3期目自治体として取り組み開始を検討
- ▶ 2019（令和元）年11月22日・23日、当時同様の健康プログラムを実施していた高石市を視察し、取り組み状況の聞き取りや、マルシェでの物販を実施
- ▶ つくばウェルネスリサーチ主催の事業準備会、金融機関説明会などを経て、年度末にかけて地方創生推進交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）の実施計画を作成
- ▶ 2020（令和2）年4月1日より大阪府高石市、福岡県飯塚市、奈良県田原本町とSIB事業始動
- ▶ 2025（令和7）年3月31日をもってSIB事業が終了
- ▶ 2025（令和7）年7月1日から内閣府成果連動型民間委託契約方式推進交付金で湯梨浜町単独で事業を継続

事業概要

- ▶ 医療費・介護給付費の適正化を目指し、健康無関心層を対象にインセンティブ付健康プログラムを提供することで参加者の意識変容を促す取り組み

主な取り組み

・ゆりはまヘルシーくらぶ

健康づくりと健康寿命延伸のため、ウォーキングを中心とした運動を楽しみながら行う事業。歩数や消費カロリーを測定できる活動量計を持ってウォーキングしたり、体組成と血圧を測定し自身の健康を管理することなどでポイントをため、景品と交換する事業

・健幸アンバサダー事業

健幸アンバサダーを養成し、健康や暮らしに役立つ知識を学び、大切な人に情報を伝えることで、地域の健康づくりに対する関心を高めるための活動をする事業

成果指標

KGI	備考
令和6年度に医療費・介護給付費抑制効果が4市町合計で11.8億円	大阪府高石市、福岡県飯塚市、奈良県田原本町

KGIを達成するために、国立大学法人筑波大学および株式会社つくばウェルネスリサーチのこれまでの研究成果を基にKPIを設定。

成果指標

KPI	備考
新規参加者の目標数の100%以上，継続参加者の目標数の90%以上	一年ごとに目標参加者数あり
新規参加者の60%以上が運動不十分層	・運動不十分層：ベースライン歩数（事業参加後はじめて1000歩を越えた日から7日間の平均歩数）が国推奨歩数※ ² （65歳未満：8000歩以上、65歳以上：7000歩以上）未満の者
全参加者の85%以上が翌年度も継続	
新規参加者の運動不十分層のうち、3ヶ月後に国推奨歩数以上またはベースライン歩数から1500歩以上増加した参加者の割合が60%以上	
80歳未満の継続者のうち、国推奨歩数以上の参加者割合が55%以上	
全参加者の15%以上が80歳以上	

事業成果

KPI	R2	R3	R4	R5	R6
新規参加者の目標数の100%以上，継続参加者の目標数の90%以上	○	×	○	○	○
新規参加者の60%以上が運動不十分層	○	○	○	○	○
全参加者の85%以上が翌年度も継続	×	○	○	○	○
新規参加者の運動不十分層のうち、3ヶ月後に国推奨歩数以上またはベースライン歩数から1500歩以上増加した参加者の割合が60%以上	×	×	×	×	×
80歳未満の継続者のうち、国推奨歩数以上の参加者割合が55%以上	×	×	×	×	×
全参加者の15%以上が80歳以上	×	×	×	×	×



湯梨浜町は3年間参加した国民健康保険、後期高齢者医療に加入する参加者は非参加群に比べ、高額な医療費が発生している人を除外した場合において、1人当たり11.8万円の医療費・介護給付費の抑制効果が示された。

メリット

- ▶ 設定目標に向けたより効果的な取り組みの検討、提案を行うことができる。
- ▶ 民間企業のノウハウやつながりによって、行政だけでは難しい課題を解決できる。（同様の事業を行っている他自治体の情報の共有など）
- ▶ 成果が出なければ、費用が発生しないため、無駄な支出が抑えられる。

まとめ

- ▶ 達成ができないKPIの項目があったが、一定の効果を確認することができた。
- ▶ 本年度以降も町民の健康増進、健康意識の醸成、医療費・介護給付費の抑制に向け、企業と協力しながら、事業を進めていく。